



のびるたけの子

10月号

令和2年9月30日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。
【体】健康やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にする子を育てます。
【公】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。
【開】人と人のコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

前期のしめくくり、後期の始まり

校長 相坂 俊

秋分の日を過ぎる頃から、長く続いた暑さも、一区切りを迎えたように感じます。また、台風の影響もあり、半袖では肌寒さを感じる日もありました。ようやく、季節が秋へと移ってゆくようです。新型コロナウイルス感染拡大のための一斉臨時休校から始まった令和2年度も、前期の一区切りを迎えます。10月9日には前期終業式、10月12日には後期始業式を執り行います。引き続き、感染予防のための取組として、テレビ放送による式となります。

今年度の「あゆみ」について

終業式の日には、お子様に前期の「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」は、お子様の学校での生活の様子や、学習の様子などを保護者の皆様にお知らせし、一人ひとりの成長を支援していくことを意図して作られています。保護者の皆様が、お子様の学校での様子を把握し、今後の生活や学習への意欲を高めたり、自信をつけたり、勇気づけたりするための資料として役立てていただくためのものです。

子どもたちにとっては、自分の努力の様子を振り返り、今後の学校生活や学習に対してより前向きに取り組んでいくための手がかりとなるものです。

ご承知のように、文部科学省の学習指導要領改訂により、令和2年度より新学習指導要領が全面実施となりました。勝田小学校においても、新学習指導要領および横浜市のカリキュラム・マネジメント要領に沿いながら、教育課程（カリキュラム）の見直しを図りました。

これに伴い、今年度より「あゆみ」も一部改訂を実施しました。詳細は別紙にてお配りしますが、大きな改訂のポイントは、各教科の評価を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に再編成したことです。各教科の観点ごとに目標を設定し、その実現状況を評価し、学習のようすとして「あゆみ」に記載します。それぞれの目標に対して、おおむね実現できていればB（1年生の前期のみ「できました」）、目標実現にあと一歩努力を要する場合はC（1年生の前期のみ「もうすこし」）と表記します。また、特に顕著に実現できている場合はAと表記しています。

お子様と一緒に、前期の振り返りにお役立てください。